

朝の三時から 阿蘇のお米と 向き合う。

春工房
市原春美



春美という自分の名前は父がつけてくれたものだが、「なんだか古くさくてずっと嫌いだっただけです」。その父のちようど三十三回忌を迎えた二〇一五年、新しく始める自分の仕事場の名前を「春工房」とした。嫌ってきてもめんね、の気持ちこめて。季節もちょうど桜咲く春爛漫だった。阿蘇の米を素材に、おはぎや赤飯、きのおこね、米粉ドーナツを作り、道の駅などに納めることを専業とするこの工房を立ち上げた市原春美さんは波野の生まれだ。二十一歳で結婚し、故郷をあとにする。女兒の母となった。人生はさまざまな出来事がある。母と娘だけになつて波野に戻ってきたのは二十三歳のとき。以来、女手ひとつで育ててきた娘はもう二十五歳になる。社会福祉協議会で介護の仕事を二十年ほどつづけてきて、春工房設立を決断した。波野にいつそ腰を据えて生きる覚悟だった。朝の三時から仕事を始めるという毎日。少しずつだけれども軌道に乗り始めてきた。そんな矢先にあの地震が起きた。深刻になり過ぎず、地道に回復をめざしていくと決めた。再開し、うれしいことに待ち望まれていたことがわかる。がんばろうと思う。

人馬一体、 こころを 通わせる。

畜産農家
竹原真理子



熊本県では女性でただ一人の「馬の人工授精師」である。資格試験に受かったのは五十歳のときだった。父の跡を継いで主婦のかたわらずと畜産をつづけてきた竹原真理子さんは、授精の現場で獣医や授精師がちゃんぶんちゃんぶんの会話を頭越しにしているのが不満だった。「持主なのに、これはつまらん、と」。そして勉強を始め、合格。が、人工授精を主務とするのではなく、あくまでも馬を見守り、繁殖させ、育てるのが仕事だ。その途上で、馬たちの恋の成就に手を貸すのも役割ということ。「あの子はいつこのあいだ赤ちゃんを産んだところ」といったわりの目で言う。馬はほんとにかわいい。「私がちょっと考え事をしたりしていると、そばにきてじつとしてくれる」。熊本地震では「ひと山なくなつたのです」。揺れた翌日に牧場に駆けつけた。馬はストレスにとても弱いから心配していたら、飼い主の顔を見て、ハーツと笑ったように見えた。ああ、よかったあ。畜産だけでなく米も作っている。主婦でありながらつづけてこられたのは、警察官だった夫の理解と応援があったからこそ。ほんとに感謝しています。内緒やけどね。

人の力を 信じる。

阿蘇の誇りと実りのブランド

然
zen
A s o C i t y

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。

然についてのお問い合わせは、

阿蘇市「草・観・然」活性化事業推進会議事務局(阿蘇市観光課)

TEL. 0967-22-3174 / FAX. 0967-22-4566

aso-zen.com

- 阿蘇の自然を舞台にした人びとの営みこそ大きな力を持っている、という考えで2013年秋にスタートした「然」。活動の広報として、お一人お一人のポスターを制作しています。
- 「然の人びと」は現在も取材進行中です。輝いている阿蘇人をどしどしご紹介ください。自薦他薦を問いません。

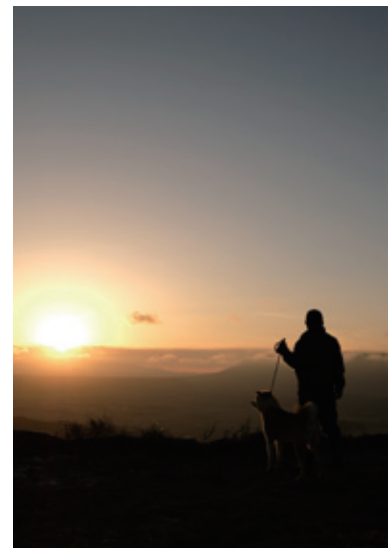
※ 掲載された内容は取材時のものです。

今月の主な内容・CONTENTS

- ④ 新年のごあいさつ
- ⑥ 阿蘇市の 1 年間を振り返る
- ⑧ 阿蘇大橋地区(国道 5 7 号)の今
- ⑩ 塵芥車を公売します ほか
- ⑪ 平成 2 9 年度市職員 2 次募集 ほか
- ⑫ 市県民税・国民健康保険税の申告
- ⑭ まちの話題
- ⑰ 全国大会出場者紹介と結果 ほか
- ⑲ 市役所からのお知らせ
- ⑳ 暮らしの情報
- ㉓ 阿蘇サイクルツーリズム通信 vol.12
- ㉔ 人権作文 阿蘇中学校 3 年 森田 寛奈さん
- ㉕ カルデラ暮らし vol.13
- ㉖ 阿蘇医療センター通信 No.27
- ㉗ 図書館へ行こう！
- ㉘ 暮らしカレンダー＆お慶びご寄付
- ㉚ ASO 田園空間博物館通信 No.72
- ㉜ 阿蘇中央の「旬」伝えます
- ㉝ 地産地消クッキング もちピザ
さわやかフレッシュマン ハルヒ・ブルック・ディビッドソンさん
- ㉞ 阿蘇フォト on Instagram

今月号の表紙

阿蘇市内は、草千里や荻岳など美しい朝日を望むスポットが数多くあります。表紙の写真は日の出と今年の干支である戌をテーマに北外輪山で撮影したものです。モデルは全国の展覧会で活躍している阿蘇市在住の秋田犬「天童丸」。－6℃の寒波の中でも元気に撮影に協力してくれました。



市役所からのお知らせ

- 阿蘇市競争入札参加資格審査申請書の追加受付を実施します [P20]
- 納めた国民年金保険料は全額が社会保険料控除の対象です [P21]

くらしの情報

- ストップ温暖化！～天ぷら油を地域エネルギーに～
- 1月の主な催し
- 老後に備え農業者年金に加入しませんか？
- 阿蘇光インターネット活用塾をオープンします
- 熊本県子ども・若者総合相談センター出張相談会 in 高森

夢を追いかける青少年の声を届けますー

夢を追いかけて

私の現在の目標は志望校に合格することです。しかし高校進学はあくまでも人生の通過点。もっと先まで見つめてみれば私の夢は中学校の英語の先生になることです。私たちの心に寄り添い達成感を味わわせてくださる先生方のようになりたいです。阿蘇中に転校して2年、私はとても充実した生活を送っています。阿蘇市で出会ったすべての方々への感謝がどうにも止まりません。これから夢に向かって、常に目標を持ち続けて、突き進んでいこうと思います。

小 関 良 々

おぜき らら／阿蘇中学校・3 年